

こんにちは 皆野町議会です！

みんなのまち 議会だより

埼玉県皆野町議会

第32号

令和元年12月定例会
2020年2月1日発行



台風19号 復旧補正予算可決

P.2

合同視察報告
総務教育厚生・産業建設 常任委員会
議会運営委員会・広報常任委員会

P.3

P.8

「これぞ、淨瑠璃の神髄！」

第7回 秩父人形サミット（皆野町文化会館）

12月8日、横瀬の人形芝居、白久の串人形、
出牛の淨瑠璃人形が上演されました。
出牛淨瑠璃人形では、独特の義太夫節に圧倒
され、人形淨瑠璃の神髄を楽しみました。

7名の議員が一般質問

P.4

P.7

議会だよりは、議員の活動や定例会の経過と結果を中心に、年4回（5月・8月・
11月・2月）発行。区長さんを通じて全世帯に配布します。
パソコンやスマートフォンからご覧になりたい方は“みんなのまち議会だより”で
検索してください。

皆さん、健康で
平和に過ごせますように
鬼は外！鬼は外！
福は内!! 福は内!!



台風19号 復旧補正予算可決

- *災害等廃棄物処理事業国庫補助金：1,813万2,000円
- *財政調整基金繰入金：128万5,000円
- *急がない事業の見直しを災害復旧に充当：6,629万7,000円

質疑 災害国庫補助金1813万2
中で、マレットゴルフ場用地買収費
2000万円を、なぜ対象としなかつ
たのか、3月議会での補正を含め、
再検討する考えはあるのでしょうか。
答弁 地主から理解され、町民から
の要望も多くあり、遅らせる必要は
ないと判断しました。予定どおり来
年度執行していきたいと思います。

質疑 緊急性のない事業の見直しの
中で、マレットゴルフ場用地買収費
2000万円を、なぜ対象としなかつ
たのか、3月議会での補正を含め、
再検討する考えはあるのでしょうか。
答弁 今回台風19号復旧費用捻出
のため、緊急性のない事業を見直し、
事業の中止、廃止、来年度への先送
りを決めました。そのひとつとして、
文化会館更新工事についても見直し
を行いました。

質疑 文化会館更新工事費の減額
(4873万円)について、どんな理
由で工事をやめたのか伺います。
答弁 今回の台風19号復旧費用捻出
のため、緊急性のない事業を見直し、
事業の中止、廃止、来年度への先送
りを決めました。そのひとつとして、
文化会館更新工事についても見直し
を行いました。

補正予算の質疑から ピックアップ！

000円とあります。今回の災害
に対して当町への補助金はほかにあ
りますか。

答弁 国からの補助金は金沢・三沢
地内の土砂・廃棄物撤去費用分です。
建設課では16路線2000万円の復
旧工事を行いますが、国の査定基準
に該当しないため、国からの補助金
はありません。

12月
定例会

皆野町議会第4回定例会は12月12日に開催され、災
害復旧に向けた補正予算など町長提出議案10件（議
案7件、承認1件、同意2件）が審議されました。
また、町政に対する一般質問は7名の議員が登壇し、
活発な議論が行われました。

人権擁護委員の推薦

小宮浩子氏（皆野町大字国神）※新任

固定資産評価審査委員会委員の選任

宮原本法氏（皆野町大字大渕）※再任

令和元年 第4回(12月)定例会

台風19号 復旧関連予算を可決／先進事例から学ぶ

7名が登壇 一般質問

みんなのまち議会だより

令和2年2月1日発行



合同視察研修

11/21～22 富山県・長野県

総務教育厚生常任委員会
産業建設常任委員会

先進事例から学ぶ キーワードは **「奇跡の村」** **「広域での取り組み」**

子育て共助による地方創生

合同視察研修1日目は富山県舟橋村を訪れました。舟橋村は、人口が倍増していることから、「奇跡の村」と呼ばれています。最初に、舟橋村立図書館を視察しました。越中舟橋駅と一体となった、3階建ての素晴らしい図書館でした。

その後、舟橋会館で視察研修を行いました。生活環境課の吉田課長より、視察資料をプロジェクターで説明されました。

人口増加の要因は、まず市街化調整区域の除外、富山市の隣という利便性、地価が安価であることと分析しており、将来的に人口減が予想される今後に向けて、吉田課長が一番強調していたのが、「子育て共助による地方創生で、共助は金になる、出生率が上がる」ということで、コミュニティの重要性を何度も力説していました。

この事業は当町にとっても大変興味深く、今後の動向に注目したいと思います。

(総務教育厚生常任委員長 宮前 司)

八ヶ岳山麓の原村にて

2日目は、長野県原村を視察研修しました。

原村は長野県南東部、八ヶ岳山麓にあり、標高約1000メートル、人口約8000人弱の村です。昭和50年時点で5700人だった人口が増加してきており、その辺りを中心に伺いました。

まず、昭和45年から村で宅地を整備し、分譲を始めたそうです。東京でパンフレットを配ったりして、八ヶ岳山麓の田舎暮らしをアピールしたそうです。

そして体験住宅に訪れた人には村に住むボランティアの案内人がバックアップし、移住に成果を上げています。なお、移住者への補助は皆野町にもある新築住宅の助成金50万円だけのことでした。

最後に、八ヶ岳山麓にある移住体験住宅を見学いたしました。情報発信の手段(八ヶ岳山麓暮らしのブランドイメージを創り出す等)や、原村だけではない、諏訪地域6市町村が連携した移住推進、広域での取り組み等、いろいろ参考になり、皆野町でも取り入れていきたいと感じられました。

(産業建設常任委員長 小杉修一)



1 越中舟橋駅と併設された「舟橋村立図書館」



2 原村役場（研修会場）



3 原村の「移住体験住宅」

小杉
修一
こすぎ
しゅういち

プログラミング 教育に期待



国神小のイングリッシュクラス(英語授業)
答弁 「コンピューター」に意図した
処理を行うよう指示することを

質問 当町のイングリッシュ教育は全国でもトップレベルにあり、多くの視察を受けていると承知しています。そんな中、来年度プログラミングの授業が全国の学校で始まるのにあたり、どのように進めていきますか。

答弁 プログラミング教育とは、「コンピューター」に意図した処理を行うよう指示することを

体験させながら、普遍的な「プログラミング的思考」を育成するものです。

英語教育と同様に、論理的思考や創造性、問題解決能力などを育てます。来年度に向けて町内の小・中学校、幼稚園の教職員で、研修に取り組んでいます。



質問 「ハザードマップについて
台風19号による大災害を受け、ハザードマップが注目される状況になりました。当町には土砂災害ハザードマップが配布されています。
しかし、内水(洪水)ハザードマップはありませんが、どう考えますか。

答弁 今回、町内数カ所で家屋への浸水がありました。内水ハザードマップも作成する必要があります。

質問 台風19号による大災害を受け、ハザードマップが注目される状況になりました。当町には土砂災害ハザードマップが配布されています。

答弁 受け、ハザードマップが注目される状況になりました。当町には土砂災害ハザードマップが配布されています。

質問 台風19号は各地に多くの被害を残し、町内では荒川と赤平川の合流地点の水位が遊歩道計画している部分より、はあるかまで来てしました。計画書通りにつくるのであれば、想定外水位となつた場合をどう考へるか、お伺いします。

答弁 駐車場から県道を通り抜けて、「前原の不整合」に行ける遊歩道を整備するため、今年度予算措置しましたが、台風19号の通過に伴う豪雨により、荒川の増水、濁流のため、河川敷は冠水していました。土砂が堆積するなど、遊歩道整備には適さないと確認され、再検討の結果、遊歩道の整備については見送ります。県道の拡幅及び歩道の整備を、秩父県土整備事務所に要望していきます。

質問 カーブミラーの点検は
先般、野巻地内の町道のカーブミラーの根元が錆びて倒

れていたのを見かけました。町がカラーフィルムを置き、対応したようでした。

その後、新しいカーブミラーの設置対応がなされました。カーブミラーの耐用年数は何年位で町道に何カ所設置済みか、「点検はしているのかお伺いします。

答弁 点検は町内の町道・林道のカーブミラー481カ所を職員の定期的な道路パトロールで目視により確認、異常を確認した時は単柱をハンマーで叩き、異常音の聞き取り等により実施しています。

耐用年数は国土交通省の要領(*1)によると亜鉛メッキ塗装は45年ですが、塗装ではない亜鉛メッキの耐用年数等を参考にする

と基本使用年数は30年が一つの目安と定められています。

今後も定期的な点検実施と適切な管理をしていきます。

林
太平
はやし
たへい

前原の不整合 遊歩道整備の計画は



(*1)国土交通省「小規模付属物 点検要領」によると、標識柱鋼板厚3.2～6mm「亜鉛メッキ塗装」の耐用年数は45年となっていますが、設置場所や道路上の湿気や塩カル等の散布状況等により、腐食率が異なります。

町の考え方を聞きました [一般質問]

今後の消防団活動支援は

大塚 鉄也
おおつか てつや



希望者には個別受信機の設置を！

常山 知子
つねやま ともこ

対応は。

質問 第1分団第2部の詰所は人数に応じてリフォームが必要ではありますか。

また中型免許取得(*2)を考えている団員について、町からの負担金は必要だと思いませんか。

答弁 詰所のリフォームの必要な有無ですが、団員全員が詰所に集まるることは年間通しても2・3日程度だと聞いています。平成27年度に修繕工事を行つてること、また令和2年度末までに町の全施設を対象とした個別計画の策定予定があり、その中で諸々検討し、考えていくたいと思っています。

中型免許取得を検討中の団員に対する町からの負担金については、平成29年3月の道路交通法の改正に伴い、将来的に3・5トン以上の消防車両を運転するとのできる団員の確保が全国的な課題となつております。今後消防

団活動に支障を来すことが懸念されています。「」指摘の消防団員の準中型免許取得にかかる公費負担補助制度については、近隣市町村の動向を踏まえ、検討していきたいと考えています。

【要望】ぜひリフォームに関しては、必要としている方々の意見を聞きながら、前向きに考えていただきたいと思います。また中型免許に関する、団員のやりやすい環境をつくるためにも、検討していただきたいと思います。

また、災害のあつた金沢地区、あの上部では人も生活していますので、そういう方が皆野町に住んでよかつたと思える、しっかりととした対応、そういう形をつくづいたいただきたいと思います。

質問 今回の台風で浸水想定範囲の地域が、床下浸水などの被害を受けました。洪水ハザードマップ作成の考えは。

答弁 県で作成を進めている「水害リスク情報図」を活用し、検討していきます。

質問 防災計画の支援者名簿に載っていない要支援者への

質問 近くの安心できる避難所として公会堂なども避難所にする見直しが必要です。また、聞きたいときに防災放送が聞こえませんでした。希望者は個別受信機の設置を求めます。

答弁 公会堂は行政区の所有管理で、避難所として考えていません。区が主体的に活用する場合は、非常食や毛布などの協力をていきます。

個別受信機は、申請に基づき設置していきます。

水道料金について

質問 答申では、皆野・長瀬でも値上げが予想されます。町長は値下げの先頭に立つていただきたいと思います。

答弁 すべての市町が値上げという答申で、値上げ幅をどれだけ圧縮できるか考えてきました

質問 地域の人の方も借りて連携を密に対応します。
金沢諏訪平崩落災害の復旧の見通しは。

答弁 住民との話し合いの結果、崩落箇所の南西側に仮設道路を設置します。

質問 私道とはいっ生活道です。常設道路設置費用に対し補助をする考えはありませんか。

答弁 現時点では考えていません。



(*2) 道路交通法改正で、平成29年3月12日以降普通免許を取得した者が運転できる車は、従来の5トン未満から3.5トン未満まで縮小。町配備済消防車両11台中8台が運転不可能となります。改正後の普通免許取得者の準中型運転免許取得等、早期の対応が望まれます。

台風19号の被害と対策

若林 光雄
わかばやし みつお



質問 台風19号の被害と対応は。

答弁 町内全域の被害は89カ所で、住宅・別荘・作業場あわせて5棟が全壊や一部損壊の大災害となり、設置された3避難所に362人が避難しました。崩落箇所の堆積土砂、家屋の産廃物処理など町で対策工事を実施し、雨水浸食されないよう法面等保護の植生シートを施します。住宅進入路の崩落地域は仮設道路を計画します。課題として自主防災組織の活用を含め、今後住民相互の防災訓練を計画します。

少子化と学校教育

質問 今後の小学校教育の考え方

答弁 平成27年度に実施の皆野小・三沢小の統合を考える意見交換会は、三沢地区の方々(保護者含む)の小規模校を残す選択

となり、その後、地域と共にある学校を目指し、「ミニユーティスクールとして多様な教育を地域と共に結束して実施、大きな成果を上げています。少子化が継続する今後、学校教育は町全体で検討すべき課題と考えています。

質問 皆野高校の今後は。

答弁 当町は皆野高校と連携事業を実施し、町の活性化、高校の魅力発掘、教育環境の向上と地域が目指す高校づくりを実践中です。今後の継続には、皆野高校が主体的な改善を図る必要があり、ちぢぶ定住自立圏では、県立4高校の魅力ある学校づくりを、「コンサルタントにて検討しています。

質問 住民の避難に対する基本的な姿勢はどうあるべき

答弁 今後も、公会堂・お寺に避難した人がいました。行政区から依頼があれば、避難所の指定はできませんが、支援することは可能と考えます。

質問 「避難所より近くの公会堂の方で対応してほしい」との意見がありましたか。

答弁 今回も、公会堂・お寺に避難した人がいました。行政

しかし、要支援者等については、その状況に応じて対応する必要があると考えています。

学童保育所について

質問 学童保育所は130人で、皆野学童保育所が定員を10人オーバーしていますが、調整中です。

答弁 学童保育所の対応に毎年変化があり、保護者が不安に感じていますが。

質問 入所基準の見直しをしてと考えますか。

答弁 「自らの命は自らで守る」という意識を持つて、住民の判断で避難行動をとり、行政はそれを全力で支援する

行政はそれを全力で支援するという、住民主体の取り組みを図ることとなっています。

避難所のあるべき姿とは

大澤 径子
おおさわ みちこ



町の考え方を聞きました [一般質問]

台風19号 復旧関連予算を可決／先進事例から学ぶ

7名が登壇 一般質問

みんなのまち議会だより

令和2年2月1日発行

質問 ①台風19号による災害箇所は89カ所ということですが、町が所管する復旧費等をどのくらい見込んでいるのか。

②土砂崩れや河川の洪水等に大別した場合の災害箇所数の実態は、また今後の対策として小河川の流木撤去や「滝の入沢川」の堆積土砂の撤去について。

③今回の台風で147世帯362人が避難されたということで、すが、その理由等を把握されているのか。また危険や不安を取り除くための今後の対策は。

答弁 ①今回の補正予算で約8543万円を計上しています。②土砂崩れ18カ所、河川の洪水等26カ所、内水氾濫6カ所、その他39カ所で災害の引き金となる流木等の撤去は、シルバーセンターに依頼するなど検討していきます。「滝の入沢川」の

小河川の流木・堆積土砂の撤去は 内海勝男 防災対策 勝男



堆積土砂撤去は、県において今年度実施する予定で現在測量中のことです。③個々に把握はしませんが、土砂災害や浸水被害から身を護るために避難と捉えています。災害時の住民が簡易に避難行動に移れるよう、気象庁や関係機関と連携を図り、支援体制を強化していく所存です。

【要望】 台風による町内の災害箇所は、地滑り防止区域内であつたり、バブル経済期に山林開発した別荘地やゴルフ場等。また、この間の山林荒廃・水田の耕作放棄等に伴う治山・治水の低下が大きく影響していると思われる。災害を未然に防ぐためのハード面での防災対策やインフラ整備、農林業再生に向けた公的支援等、国や県への要請。そして、町としてもできる限りの防災対策を講じるよう要望したい。

町長提出議案	令和元年第4回定例会(12/12)で審議された議案と議員の賛否	結果	大塚鉄也	林太平	小杉修一	宮前司	常山知子	若林光雄	新井達男	大澤径子	四方田実	内海勝男	宮原睦夫	大澤金作
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	皆野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	皆野町一般職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	皆野町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	皆野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度皆野町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度皆野町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	専決処分の承認を求めるについて(令和元年度皆野町一般会計補正予算(第3号))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※(○は賛成、×は反対、欠は欠席) 議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します



合同視察研修
10/31 埼玉県三芳町
議会運営委員会
広報常任委員会



広報の効果的な発信と 議会の活性化について

三芳町の広報は「読まれなければ意味がない」をコンセプトに「伝えることより「伝わること」にこだわり、読ませる工夫を随所に設け、コミュニケーションによる情報収集にも努め、町民に読んでもらえる広報をつくりあげていました。

これから「議会だより」は、町民の皆さんと議会の架け橋になるべく取り組むことが肝要と思いました。

三芳町では平成18年～19年に『執行部に反問権を付与してほしい』との町長からの要望を受けたことで「反問権」を学ぶこととなり、同時に議会改革の必要性を感じたため、議員だけでなく住民を交え、専門家の意見も取り入れて研修を重ね「反問権は許可せず聞き返しのみ可」とした議会基本条例と、倫理条例の2つを制定しました。

議会報告会は住民の意見を直に聞く希少な場で、継続するべきものであり、議員の成長にもつながるとのことでした。住民の声に耳を傾ける姿勢に共感し、皆野町でも議会改革に取り組んでいきたいと思いました。
(議会運営委員長 大澤径子)

秩父広域市町村圏組合議会

11月13日(水) 全員協議会が開催、諸報告として第3回定例会管理者提出議案の概要について8件の説明、台風19号による被害及び復旧状況、一般廃棄物処理手数料の改定、水道事業経営審議会の経過報告が行われました。

11月20日(水) 第3回定例会開催、一般質問5名、管理者提出議案8件で、主なものは、水道事業の補正予算、平成30年度一般会計決算認定、令和元年度一般会計補正予算、条例改正3件、監査委員の選任で、提出された議案は原案のとおり認定・可決されました。
(議員 四方田 実)

次の定例会は
3月中旬頃の予定です

議会だよりへのご意見をお寄せください

Fax 0494-62-2791

gikai@town.minano.saitama.jp (議会事務局宛)

議員雑記

おかしけりやお笑いな。こらしょッ!
昨年女子ゴルフの渋野日向子さんが、笑いながらナイスショットを連発し、全英女子オープンを制覇してしまい、スマイルシンデレラと世界から称賛されました。一方、世界中が熱狂したラグビーワールドカップの稻垣啓太選手は激闘の中、得点しても、決して笑いませんでした。
流行語大賞は「ONE TEAM」。我々未来に向かってスクラム組んで、まちに笑顔があふれるようにトライ! ナイスこらショット! 小杉修一

発行: 埼玉県皆野町議会 (議長 大澤金作)
TEL 0494-62-1467 FAX 0494-62-2791
gikai@town.minano.saitama.jp
〒369-1492 埼玉県秩父郡皆野町大字皆野1420-1

編集: 広報常任委員会

委員長 常山知子
副委員長 林 太平
委員 大澤径子
若林光雄
宮前 司
小杉修一

本会議の日程や
傍聴のご案内、
議会構成などは
議会ホームページ
でご覧になれます



皆野町議会

